

市町村別受益面積

市町村名	受益面積
八代市	4,094ha
千丁村	838
宮原町	6
鏡町	1,709
合計	6,777

事業費内訳

区分	現計画	備考
国営分	千円	
堤堰費	1,781,000	堰長295m、11連
用水路費	1,078,000	幹線用水路 32,406m (導水路共)
(計)	(2,859,000)	
県営分		
用水路費	237,000	準幹線用水路 27,910m
排水路費	713,000	58,349m
(計)	(950,000)	
団体営分		
区画整理費	346,000	1,662.82ha
かんがい排水路費	120,000	5,114.05ha
客土費	415,000	3,103.60ha
(計)	(881,000)	
合計	(5,488,000)	
10a 当り事業費	(81,000)	受益面積 6,777ha
	69,206	

(註) 現計画は33年8月現在当初計画の単価を使用したもので、単価更正を考慮すれば概算(5,488,000)千円となる。

また、あらゆる施設を更新することによつて五千九百万円の効果を期待するものである。

事業費の内訳市町村別受益面積、作付け体は次表のとおりである。

作付類型 (単位 ha)

地帯別	面積		作付体		備考
	面積	%	面積	%	
(A) 地帯			早期	911 66.67	
畜産地帯	1,366	20.16	晚期	455 33.33	
			(B) 地帯	早期	582 33.33
イ草地帯	1,745	25.75	晚期	1,121 66.67	
			(C) 地帯	早期	916 25.00
二期作地帯	3,666	54.09	二期	1,833 50.00	
			晚期	916 25.00	
計	6,777				

(2) 昭和二十八年年度 (二十五万円)
前年度に引き続き、補足調査を行なうとともに、建設省の補助を受けて、「干拓の造成とこれに伴う用水路網に関する調査」を行ない、干拓造成の過程、及び農業用水の問題を、郷土史にもとづいて、土木的な立場から調査を実施した。また、調査期間中に未曾有の大災害をこうむり、十分な目的を果し得なかつたが、調査結果は報告書として取りまとめる。

(4) 昭和三十年年度 (二百十五万円)
「八代平野農業生産力増強に関する総合調査」を、九州農業試験場に委託して、実施した。

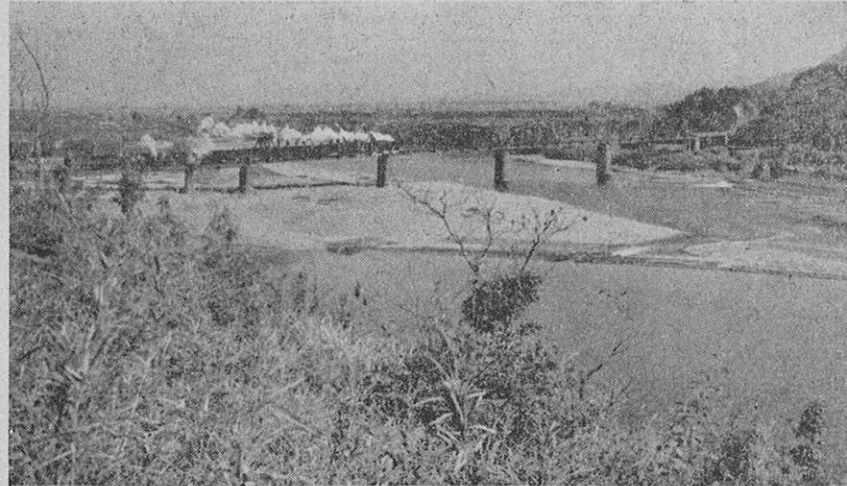
調査は、昭和三十年八月から総合調査をはじめ、三カ年にわたつて行なつたが、これを要約すると、
A 排水不良田が多い(四千ヘクタール)

a 地下水位を下げることによつて、良好な地力の活用をはかることのできて、増収並びに農作業の適正化を

(3) 昭和二十九年年度 (三十万円)

八代平野のすがた

熊本県の穀倉といわれている八代平野とはどんな所だろう。
熊本駅から国鉄に乗り、松橋駅を通過すればたちまちに広々とした耕地が左右に展開され、日奈久町まで続いている。この広い水田地帯を、いわゆる八代



八代平野をうるおす遙拝ダムの設建予定地点 (鉄橋は鹿兒島本線)

干拓の元祖は清正公

干拓の沿革は、その昔加藤清正公が千丁村新牟田新田を干拓したもののはじまりで、それ以来三百五十年間の長い間に、六十五回に及ぶ干拓がなされたもので、今でも国の力や県の力によつて干拓工事が行なわれている。

つまり山麓より海岸線まで九十里海岸線は日奈久町から松橋までおよそ十六キロ、この内に数本の旧干拓堤防が横たわり、今では道路として利用されている地帯も数多く見受けられる。
このようなことから、水田に最も必要な用水路は干拓の伸びに従つてきたもので、上流の用水路は下流において排水路となり、また排水路の水は再び用水として利用されるため、水路にはいたる所に極門(通称さぶた)が設けられている。そのため、洪水時には

数千畝に及ぶ水田一帯が水びたしとなり、長い時は一週間も続いている有様で、農民の生産意欲と生産技術は高い水準にあるといわれながらも、その生産量は極めて低い地帯である。

計画のねらい

このような姿をどうかつて改良し、生産の高い農業地帯をうみ出すのが、八代平野土地改良事業計画の発端である。
すなわち、その考え方は、豊富な水を持つ球磨川の下流にある遙拝堰の上流に近代的な堰堤をつくり、その両岸に取り入れ口を設け、コンクリート水路によつて末端まで用水する。排水路は用水路と

計画のあらまし

ダムの地点は、遙拝堰の上流約百畝のところで、そこにコンクリートづくりの近代的な井堰を設ける。現在の遙拝堰は、満水面七・五畝であるものを九・五畝とする。

農業用水 受益面積六千七百七十七畝、その水量毎秒十六・四立方畧として、うち右岸五千四百五十五畝、毎秒十三・〇七立方畧、左岸一千三百二十二畝、毎秒三・三立方畧を取水できるようにする。
水路はコンクリート三方張りとして、途中漏水しないようにして、維持管理費のかからぬようにする。
排水は数ブロックに分けて、地下水位

を下げ、洪水時にも冠水しないようにする。

その他、必要に応じて区画整理や客土もおこなう。

工業用水も、この堰堤から毎秒五・五立方畧を取水できるようにする。

発電は、落差が少ないため、採算がとれないので、おこなわないこともやむをえないのではない。

効果以上の総合的な事業によつて、米に換算して六万二千石の増産を期待するほか、維持管理費の節減毎年二千百万円、営農努力の節減毎年五千六百万円、

前述二カ年の調査にもとづいて、用水、排水の現況、ならびに土地生産性の意外に低いことが、おおむねわかつたので、これらの資料にもとづいて、当地域の開発計画概要書を作成して、農林省その他関係機関に説明するとともに、地元関係市町村に説明して、PRに努めた。

そこで地元においても関係市町村一体となり、八代平野利水計画促進期成会の設立を見るにいたり、県と一体となつて事業の推進をはかつた。
この結果、農林省和田計画部長の現地視察を受け、その結論として、事業計画をたてる前に「当地域農業生産の低位である原因について、学術的総合調査」を要する旨の指示を受けたことは、事業計画を策定する上に大きい示唆を与えられたものである。